

アライグマは何が問題か

「生態系、農水産業、文化財への被害」



関西野生生物研究所 立命館大学客員研究員 川道美枝子

アライグマはどこから来たか

アライグマはなぜ野外で増えたか？

1970年代末に放映されたアニメ「あらいぐま ラスカル」

最終話で主人公はラスカルを野生に返す。それを真似したのか日本各地で放された。

可愛い、可哀そうという理由で初期の対策が遅れた。

アライグマは北米原産の食肉類。1970年代の「あらいぐま ラスカル」ブームで日本には主にペットとして数万頭のアライグマが輸入された。しかし、アライグマはペットとして不向きなため、やがて山野に放され繁殖するようになった。

アライグマは何が問題か

アライグマは北米から日本に主にペットとして持ち込まれ、現在、北海道から沖縄まで日本全国に分布を拡大し、深刻な問題を引き起こしている。日本にはアライグマの天敵がいない。雑食性で何でも食物として利用できる。繁殖力が旺盛。暑さ寒さにも耐えることが可能。長期間の絶食にも耐えるほど生命力が強い。

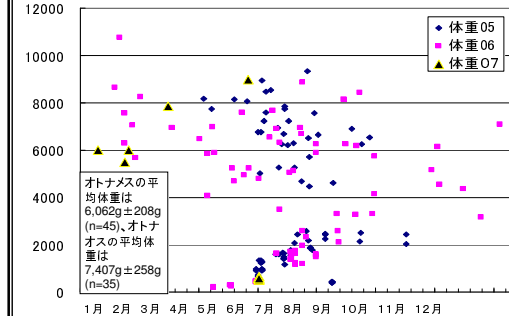
- 1) 自然生態系への影響：在来生物の捕食、置き換わり、食物やねぐらを奪う
- 2) 農水産物への被害：スイカ、トウモロコシ、コイなど
- 3) 寄生虫や病気伝染の怖れ：アライグマ回虫症、狂犬病、レプトスピラ、日本脳炎、ジステンパーなど
- 4) 民家や社寺などの文化財への侵入と破壊

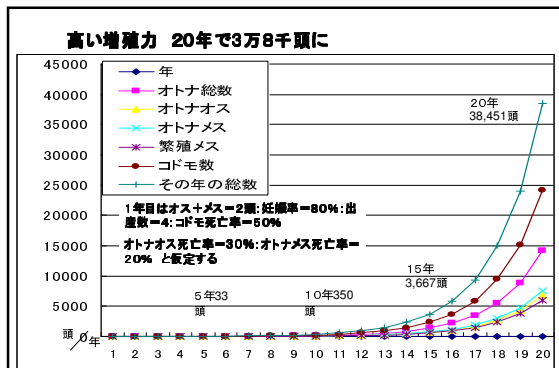
アライグマは食肉目アライグマ科に属する中型の哺乳類。日本には北アメリカから主にペットとして輸入されたが、オトナになると荒っぽくなり、逃げ出したり山野に放されて繁殖し、現在は日本中に生息している。オトナメスの体重は平均6kg、オトナオスは平均7.4kgあり、ときには群れることがある。雑食性で何でも食べる。毎年1回4頭程度の子供を育てる。日本には天敵がいないこともあって死亡率は低く、個体数の増加が著しい。

アライグマ
右上 オス
右下 メス



京都府で捕獲されたアライグマの体重



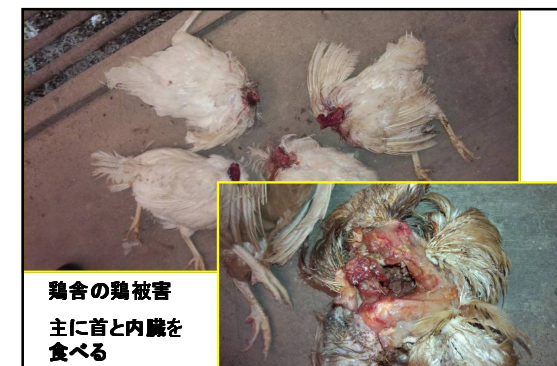


アライグマによって引き起こされる問題 日本全国でのアライグマ捕獲頭数の急増

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
外来生物法	0	0	3,899	8,179	10,329	13,791
有害駆除	3,060	4,418	6,233	2,590	3,792	4,227
狩猟	221	254	257	418	400	339
合計	3,281	4,672	10,389	11,187	14,521	18,357

アライグマによる農作物の被害

スイカに500円硬貨くらいの穴をあけ、手を使って中身を掘り出す。こうした食べ方をするのはアライグマだけ

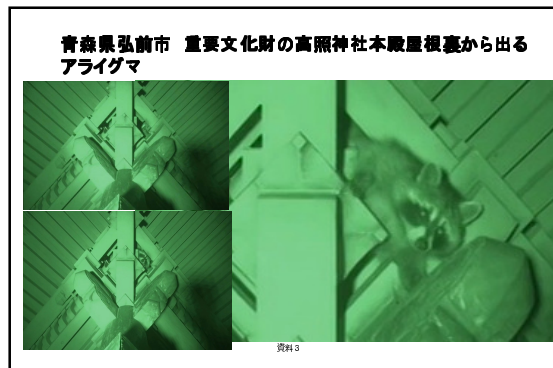




アライグマ侵入を知る有効な手がかり

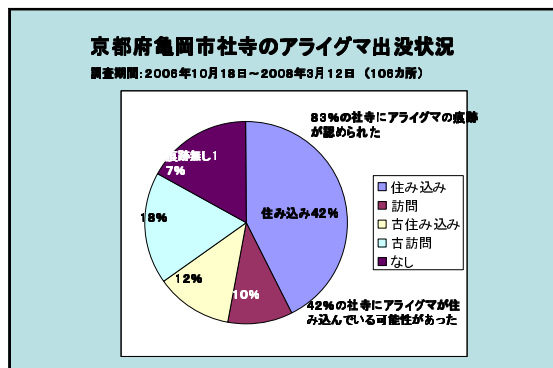
- 特有の爪痕
- 特有の足跡
- 特有の食痕
- 軒下や屋根に開けられた侵入穴
- 天井裏の糞





爪痕や痕跡、聞き取り調査によりアライグマの手がかりを得ることが重要。

特に爪痕の色により、アライグマが最近出没しているかどうか分かる。



京都府舞鶴市の成功事例

徹底した捕獲の開始

鼠を扱う人の確保

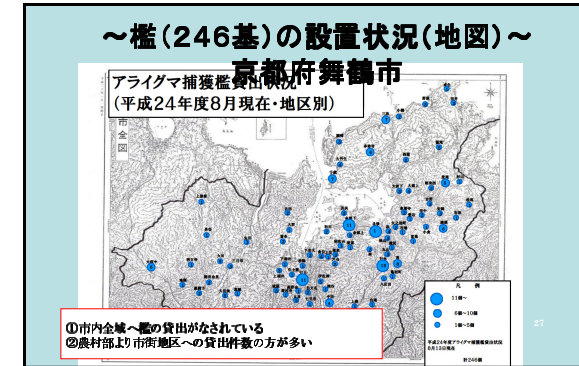
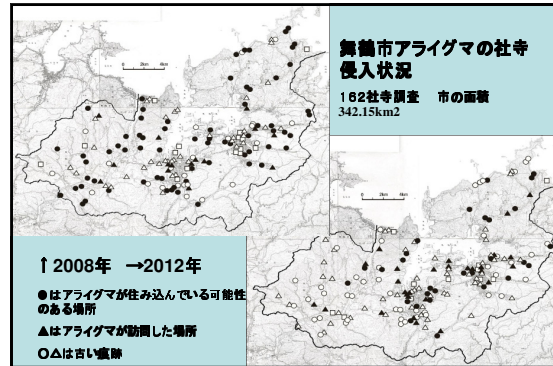
錯誤捕獲への対応

餌の工夫

捕獲された個体の適正な処置

京都府舞鶴市の成功事例の 具体的内容

爪痕調査等でアライグマが市内全
域に出没していることを知り、全域
での早期の対策が着手できた。



京都府舞鶴市のアライグマ捕獲数
捕獲数は年々減少している。農業被害も減った。

年次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2009年	有害	0	0	16	6	8	16	6	12	5	9	0	78
	外来	0	0	0	3	6	3	7	5	10	13	10	68
2010年	有害	0	0	12	6	6	20	5	6	6	14	0	75
	外来	7	12	4	4	6	8	8	4	7	11	7	93
2011年	有害	0	0	18	11	10	5	11	3	4	9	0	71
	外来	3	3	2	2	5	4	2	7	5	3	2	41
2012年	有害	0	0	3	3	8	4	0	3	4	2	0	27
	外来	0	1	1	3	6	9	0	0	0	1	1	22

